



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

平成 27年 3月 16日 (月)

国土交通省 関東地方整備局

港湾空港部

記者発表資料

～国際コンテナ戦略港湾・京浜港～

## 「群馬県荷主意見交換会」を開催しました

関東地方整備局では、平成 23 年度から、京浜港の主な背後圏である関東圏内で県別に国際海上コンテナ貨物の荷主を対象に、荷主との港湾政策に関する情報共有、同一地域の荷主間における情報共有、企業間ネットワークの構築、コンテナマッチング等の京浜港物流高度化行動計画に基づいた物流効率化に向けた取り組みに関する情報交換を目的として、荷主意見交換会を開催しています。

平成 27 年 2 月 12 日(木) 群馬県高崎市のホテルメトロポリタン高崎において、「第 4 回群馬県荷主意見交換会」を開催しました。

本意見交換会は、群馬県の荷主企業と京浜港の港湾関係機関により、国際コンテナ物流の課題や効率化等について意見交換し、相互に今後の国際物流の効率化につなげることを目的として開催しました。

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・物流専門紙・その他専門紙

### 問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室

室長 小澤 敬二 (こざわ けいじ)

補佐 藤井 久 (ふじい ひさし)

電話 045-211-7437 FAX 045-211-0204

## 「第4回群馬県荷主意見交換会」の開催結果

■開催日時 平成27年2月12日(木) 14:00~16:00

■開催場所 ホテルメトロポリタン高崎

■参加荷主等企業(50音順)

群栄化学工業株式会社  
信越化学工業株式会社  
日本ミシュランタイヤ株式会社  
三益半導体工業株式会社  
他1社(計5社)

■議事

- (1) 国際コンテナ戦略港湾政策と京浜港における取組
- (2) 物流高度化・効率化の取組
- (3) 各企業の国際物流動向に関する意見交換

■主な意見

- ・コンテナラウンドユースにはコスト削減やCO2削減という点に関心があり、社内でも推進しようとしているが、実務レベルでは課題が多くなかなか進んでいない。
- ・内陸で京浜港から距離があり、1台のシャーシでラウンドすることが現状では難しいため、太田国際貨物ターミナル(OICT)の利用などを検討している。
- ・トラックドライバーが京浜地区のゲート前渋滞に苦勞している。ゲート前の車列の作り方などに工夫の余地があるのではないかと感じている。
- ・既に通関手続き等は24時間化されているので、コンテナターミナルのゲートについても現在の延長オープン時間をさらに拡充し、24時間オープンを実現してもらえれば物流の効率化につながる。
- ・東京オリンピック開催によって物流に影響が出ないよう、現段階から対策を検討し、必要な措置を講じてもらいたい。

■会議状況



【荷主意見交換会の模様】



【意見交換会後の個別意見交換の状況】